

日経ビジネス／日経クロステック主催  
Webカンファレンス(10月13日開催予定)

# 「東京大改造2026サミット」

～新・まちづくり宣言：100年先の未来を創る～

協賛に関するご案内

日経BP

# 🏗️ 企画趣旨

東京が数km圏内に個性豊かな街が並ぶ“多極都市”であることは、世界の都市と一線を画す「魅力」の一つです。ただ、成長を続けてきた東京も、少子高齢化がさらに進んで2040年代に曲がり角を迎えるという予測があります。こうしたなか、縮小社会にあらがう成長戦略として「東京大改造」というべき巨大な都市開発プロジェクトが各地で同時進行。これらは単なる再開発の枠を超え、国内外の様々な潮流と対峙する中で戦略的かつ必然的に生まれました。国際競争の舞台で日本の存在感を取り戻し、世界のゲームチェンジャーとしての役割を担う時期が到来しています。

東京大改造が目指す狙いは多岐にわたりますが、最も大切なのは国際ビジネス都市としての機能強化と、多様な才能を惹きつける魅力的な都市空間の創出ではないでしょうか。最先端のオフィス機能に加え、高層ビル群の中にも豊かな緑地、文化施設、上質な住居を配置し、職住遊が融合した質の高いライフスタイルが人々に提供できること。また、AIをはじめとするデジタル技術を積極的に導入して利便性と持続可能性を両立させること。さらには、防災性の高いインフラの整備や、環境負荷の低い都市モデルを構築することが重視されています。広大な土地や交通インフラを最大限に活用し、官民連携で推進する大規模なプロジェクトは、単なる経済成長のエンジンに留まりません。未来の課題に答え、人々が豊かに暮らすための都市モデルを提示する壮大な挑戦です。一方、イラン危機により原油不足といった新たな課題が浮上。省エネルギー型施工の徹底や原油由来建材からの脱却、代替素材への転換などが叫ばれるようになりました。都市開発においても影響は少なくないでしょう。

以上をふまえ、日経BPでは「東京大改造2026サミット」を開催。巨大な再開発プロジェクトを支える関連企業各社様による未来を見据えた取り組みと事業戦略、優れたエリアマネジメントにフォーカスして、広報PRやブランドコミュニケーション、投資家対策、ビジネスパートナーとのマッチング、テナント誘致、人材獲得、さらには政策提言への影響力増加などを強力に支援する機会といたします。

「日経ビジネス」の情報発信力やコンテンツ企画力に加え、「日経クロステック」「日経不動産マーケット情報」「日経アーキテクチュア」「日経コンストラクション」が有する専門性を織り込みながら、他にはないビジネスカンファレンスの開催を目指します。企画趣旨にご賛同いただき、本カンファレンスにご協賛賜りますよう、お願い申し上げます。お力添えください。

# 日経クロステック 「プロジェクト予報2026」より(右図)

山崎 颯汰  
日経クロステック／日経コンストラクション記者  
2026.01.22

(記事URL)  
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/na/18/00303/011500002/>

個性豊かな拠点が多数存在する、日本の首都・東京。  
2050年を見据えた構想やプロジェクトをひもとくと、  
品川エリアやJR東京駅周辺を軸に、都市の重心が  
動き始めている様子が浮かび上がってくる。

(補足情報)2026年4月

- ・日本橋一丁目中地区再開発プロジェクトの街区名称は「東京ミッドタウン日本橋」に決定
- ・内幸町一丁目街区開発プロジェクトの街区名称は「HIBIYA CROSSPARK」に決定

※右図が示すのは、2050年までの東京都内の主要プロジェクトと主な出来事。  
プロジェクト名は仮称、略称を含む。都は、23年に公表した「東京戦略2050」で、  
「ダイバーシティ」「スマートシティ」「セーフシティ」を今後の都政のキーワードに挙げる  
(出所:取材や調査を基に日経アーキテクチャが作成、人口予測は国立社会保障・  
人口問題研究所、JR東日本、WireCollective、  
池袋駅西口地区市街地再開発準備組合)

## 2026

- 26年 JR東日本が単独で取り組む初の大規模再開発
- 26年 タカナワ ゲートウェイシティ 「TAKANAWA GATEWAY CITY」グランドオープン
- 26年 トフロム ヤエスタワー 「TOFROM YAESU TOWER」竣工 東京駅前3地区再開発の第2弾
- 26年 日本橋一丁目中地区再開発 竣工 日本橋川沿い5地区再開発「日本橋リバーウォーク」の初弾
- 28年 小池百合子都知事の3期目任期満了に伴う都知事選挙
- 28年度 トーチ タワー 「Torch Tower」竣工 東京駅前に高さ日本一のビル
- 29年度 「新宿駅西口地区開発計画」竣工



## 2030

- 30年度 都内で空飛ぶクルマの市街地上空での運用が実現(空飛ぶクルマ実装プロジェクト)
- 31年度 「渋谷スクランブルスクエア第II期(中央棟・西棟)」竣工
- 31年度 羽田空港アクセス線が一部先行開業
- 35年以降 リニア中央新幹線品川一名古屋間が開通
- 30年代半ば 東京メトロ有楽町線(豊洲一住吉)・南北線(品川一白金高輪)を延伸
- 37年度以降 「内幸町一丁目街区」全体完成 NTTなどが参画するスマートシティプロジェクト
- 38年 「神宮外苑地区まちづくり」全体完成 都心につくるスポーツクラスター
- 30年代 「築地地区まちづくり事業」街開き 築地市場跡地に5万人収容のスタジアム
- 30~40年代 トウキョウ スカイ コリドー 「Tokyo Sky Corridor」全区間完成



## 2040

- 40年 東京都の人口が約1451万人でピークを迎え、減少に転じる
- 40年度 日本橋川の上をまたぐ高架橋を撤去
- 40年代 「池袋駅西口地区再開発」全体完成



## 2050

キーワードは「アート・カルチャー」

# 開催概要

「東京大改造2026サミット」～新・まちづくり宣言：100年先の未来を創る～

開催日時：2026年10月13日（火）

収録/配信会場：都内イベント施設を予定（来場は関係者のみ）

開催形式：Webカンファレンス（一般受講者はオンライン視聴）

主催：日経ビジネス、日経クロステック

協力：日経不動産マーケット情報、日経アーキテクチュア、日経コンストラクション、  
日経BP 総合研究所

協賛：不動産各社、建設/住宅会社、鉄道会社、コンサルティング会社、IT関連企業、  
金融機関、投資/資産運用会社、独立行政法人（公共関連団体）など

主な受講対象：企業の経営層、経営企画、事業開発/事業戦略、管財部門（人事・総務・財務）、  
不動産開発、営業/調査/マーケティング、IT部門などの意思決定者

受講規模：オンライン終日400名（予定）

# 📅 タイムテーブル(案)

10:00～10:30	主催者企画（中央省庁/自治体関係者、有識者などによる講演orパネル）
10:40～11:10	協賛講演もしくは協賛社を含む鼎談/対談
11:20～11:50	協賛講演もしくは協賛社を含む鼎談/対談
13:00～13:30	主催者企画（中央省庁/自治体関係者、有識者などによる講演orパネル）
13:40～14:10	協賛講演もしくは協賛社を含む鼎談/対談
14:20～14:50	協賛講演もしくは協賛社を含む鼎談/対談
15:00～15:30	主催者企画（中央省庁/自治体関係者、有識者などによる講演orパネル）
15:40～16:10	協賛講演もしくは協賛社を含む鼎談/対談
16:20～16:50	協賛講演もしくは協賛社を含む鼎談/対談
17:00～17:30	主催者企画（中央省庁/自治体関係者、有識者などによる講演orパネル）

※タイムテーブルとプログラム構成は今後、変更になる場合があります

※ご協賛枠のプログラムは単独講演、もしくは鼎談/対談(モデレーター:日経BP)をご選択可能です

# 主催者企画のテーマ(案)

## 1. 未来ビジョンと広域戦略

- ・2030年の東京:世界一『人を惹きつける街』であるために、私たちが今打つべき一手
- ・首都圏グランドデザイン2040～東京と周辺エリアが共創する新たな都市圏の可能性と地方創生への貢献
- ・多極化する東京の勢力図:国際金融都市・スタートアップ拠点化で塗り替わる「街の序列」

## 2. エリアマネジメントと空間活用

- ・東京大改造を牽引する次世代エリアマネジメント戦略～プロジェクト事例に見る成功の鍵と課題
- ・官民連携が生む都市の余白:パークマネジメントと公共空間活用の最前線
- ・東京リバーサイドストーリー～空と水が広がる都市開発と街づくりの舞台裏。舟運サービスの魅力。
- ・AI/デジタル駆動型都市の実現～新たな価値創造とエリアマネジメントの可能性を探る

## 3. サステナビリティと都市のレジリエンス、ウェルビーイング

- ・サステナブル都市東京の挑戦～環境、防災、ウェルビーイングを統合するレジリエントな街づくり
- ・職住遊を満たす都市デザイン～多様なライフスタイルとサードプレイスが育むエリアの魅力
- ・イラン危機を乗り越える～原油由来建材からの脱却と代替素材への転換、省エネルギー型施工、循環型建設の推進

# 日経 本サミットに連動する特別編集版(同梱別冊)

※特別編集版 表紙イメージ(記載内容、デザインは仮)



## 東京大改造 2040

都心の景色を変える  
巨大プロジェクト

日経クロステック  
日経アーキテクチャ  
日経コンストラクション編

仮イメージ



## 首都の街並みが激変!

新・まちづくり宣言:未来を創る多極都市  
「東京」各地で進む大規模プロジェクトを紹介

特別編集版  
(同梱別冊)  
日経ビジネスなどの  
読者に配送

日経BP

### ■特別編集版(同梱別冊)「東京大改造2040(仮称)」を発行

本サミット開催を機に12月に発行予定。変貌を遂げる東京と周辺の街を、建築・鉄道・道路など多面的な視点で展望する日経クロステックの編集特集「東京大改造」より、都市開発や街づくりの事例記事を中心にピックアップする特別編集版(同梱別冊)。サミットの講演採録記事も掲載します。

### ■特別編集版の概要(予定) ※変更になる場合があります

編集:日経クロステック 判型:A4変型版(中綴じ)

構成:編集記事24~32ページ+サミット採録記事(PR)16~24ページ想定

同梱予定雑誌:日経ビジネス(首都圏版)、日経アーキテクチャ、日経不動産マーケット情報



●日経ビジネス  
ビジネスリーダーから  
圧倒的支持を集める日本  
No.1の経済・経営情報誌。

※特別編集版は2026年  
12月14日号(首都圏  
版)に約3万部を同梱予  
定



●日経アーキテクチャ  
ビジネスリーダーから  
圧倒的支持を集める日本  
No.1の経済・経営情報誌。

※特別編集版は2026年  
12月10日号(12/7発売)  
に約2万部を同梱予定



●日経不動産マーケット情報  
事業用・投資用不動産  
の売買や賃貸に携わる  
方に向けて、売買・企  
業移転・新規開発と  
いった通常では入手困  
難な情報を提供。

※特別編集版は2027年  
1月号(12/21発売)に  
約2000部を同梱

※上記内容は2026年4月時点のものであり変更になる可能性があります

# 協賛プラン(プレミアム):600万円(税別)

## ■講演枠の提供:1枠(30分)

※ご自社による単独講演、もしくは、鼎談/対談の設定も可能(要ご相談:当社進行役含む計3名まで)

## ■全受講登録者リスト(500件想定)の提供

## ■個別アンケートの実施(任意) ※運営ルールに基づく形にて別途事務局よりご案内いたします。

## ■講演採録記事(PR)の掲載(原稿は共通) ※特別編集版を同梱する雑誌の発行号はカンファレンス開催時期により変更になる場合があります。

<1> Web媒体 ※TOP(INDEX)ページとして、本カンファレンスの特設サイトを立ち上げる可能性あり

・日経ビジネス電子版+日経クロステック(ダブルブランド・1HTMLページ) 12月中旬(予定)~4週間掲載

<2> 特別編集版(同梱別冊):「東京大改造2040(仮称)」に4色2ページ掲載

※日経ビジネス 2026年12月14日号(首都圏版)、日経アーキテクチャ12月10日号、日経不動産マーケット情報2027年1月号(12/21発売)に同梱

## ■特別編集版 講演採録記事(PR)4色2ページの校了データ提供(二次利用可)

## ■特別編集版 掲載誌100部提供

## ■貴社純広告もしくは記事体広告の当社メディアへの掲載

<1> 日経ビジネス 4色1ページ掲載 (2026年9月~12月発売号の中で1回。掲載時期など要確認、ご相談)

※上記内容は2026年4月時点のものであり変更になる可能性があります

# 協賛プラン(スタンダード):500万円(税別)

## ■講演枠の提供:1枠(30分)

※ご自社による単独講演、もしくは、鼎談/対談の設定も可能(要ご相談:当社進行役含む計3名まで)

## ■全受講登録者リスト(500件想定)の提供

## ■個別アンケートの実施(任意) ※運営ルールに基づく形にて別途事務局よりご案内いたします。

## ■講演採録記事(PR)の掲載 ※同梱する雑誌の発行号はカンファレンス開催時期により変更になる場合があります。

<1> 特別編集版(同梱別冊):「東京大改造2040(仮称)」に4色2ページ掲載

※日経ビジネス 2026年12月14日号(首都圏版)、日経アーキテクチュア12月10日号、日経不動産マーケット情報2027年1月号(12/21発売)に同梱

## ■特別編集版 講演採録記事(PR)4色2ページの校了データ提供(二次利用可)

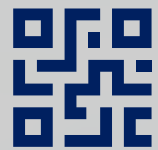
## ■特別編集版 掲載誌100部提供

## ■貴社純広告もしくは記事体広告の当社メディアへの掲載

<1> 日経ビジネス 4色1ページ掲載 (2026年9月~12月発売号の中で1回。掲載時期など要確認、ご相談)

# 協賛メニューの提供価値(正価相当)

協賛メニュー	数量	正価換算価値	プレミアム協賛 (600万円)	スタンダード協賛 (500万円)
講演枠(30分)	1枠	Priceless	○	○
受講登録者リスト(想定数)	500件	4,000,000	○	○
Webカンファレンス個別アンケートの実施(任意)	1式	Priceless	○	○
日経ビジネス電子版+日経クロステック PR(講演採録)記事	1HTML/4週間	4,000,000	○	-
特別編集版(3誌への同梱別冊) PR(講演採録)記事	2ページ	8,000,000	○	○
講演採録記事(PR)校了データ	1式	200,000	○	○
特別編集版 掲載誌	100部	50,000	○	○
日経ビジネス 純広告もしくは記事体広告1ページ掲載	1回	2,500,000	○	○
	計	18,750,000	18,750,000	14,750,000



# 今後の主なスケジュール(予定)

- 各社様へのご協賛プランご案内、ご提案 2026年4月～
- 主催者企画ご登壇者の招聘開始 2026年5月～
- ご協賛申し込み締め切り 2026年7月
- 主催者企画ご登壇者の決定 2026年7月
- 集客プロモーション開始 2026年8月
- サミット開催 2026年10月
- 受講登録者リストの提供 2026年10月
- 当社メディアへの純広告もしくは記事体広告掲載 2026年9月～12月(1回)
- サミット講演採録記事(PR)掲載 2026年12月～

※本件協賛に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします

[c-ad@nikkeibp.co.jp](mailto:c-ad@nikkeibp.co.jp) もしくは [nb-ad@nikkeibp.co.jp](mailto:nb-ad@nikkeibp.co.jp)

※上記スケジュールは2026年4月現在の計画で変更になる場合があります。

# 個人情報提供の際の取り扱いルール

日経BPでは顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。  
是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

## 1. 顧客情報の範囲

提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先(または自宅)住所」「勤務先(または自宅)電話番号」「勤務先(または自宅)FAX番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

## 2. 顧客情報の提供方法

顧客情報は「日経BP リードジェン支援システム」を使用してお提供いたします。データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。問い合わせ先:日経BP リード・サポートセンター( E-mail:lgsc10@nikkeibp.co.jp )

## 3. 顧客情報の利用目的

提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品／サービスのご案内に限定してご利用ください。

## 4. 顧客情報の利用方法

提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

## 5. 提供した顧客情報の管理責任について

提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。